

さくらだより 2026 冬号

「変化を力に、地域と共に。介護・福祉の未来をデザインする」

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年のスタートをお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

激動の2025年を振り返って

昨年を振り返りますと、まさに「激動」と呼ぶにふさわしい一年でした。世界に目を向ければ、気候変動や経済の不確実性、自国第一主義の台頭など、課題が複雑に絡み合っております。日本国内においても、異常気象に端を発する鳥獣被害の多発や、経営資源である「ヒト・モノ・カネ」全てのコストが高騰するなど、かつてない変化に直面しました。政治の舞台では憲政史上初となる女性総理が誕生しましたが、社会情勢は依然として予断を許さない状況が続いています。

私たち介護・福祉業界においても、公定価格という制度構造の中で、深刻な人材不足や物価高騰、施設の老朽化、そして待ったなしのDX推進など、対応すべき課題は山積しております。

2026年の抱負と決意

私たちを取り巻く環境はめまぐるしく変化していますが、私はこれを単なる逆風ではなく、「介護・福祉の未来を新しくデザインする好機」と捉えています。本年のテーマは、「変化を力に、地域と共に」です。

具体的には、外国人材の積極的な受け入れによるダイバーシティの推進や、多様な働き方（スポットワーク等）の導入、そしてAI・ICT・介護ロボットの活用による業務革新を断行いたします。効率化によって生まれた時間は、決して余白にするのではなく、ご利用者様や地域の皆様と向き合う「心の通う時間」へと還元してまいります。職員一人ひとりが輝き、働きがいを感じられる環境を作ることこそが、サービスの質の向上、ひいては地域の「安心」へとつながると確信しております。

おわりに

当法人は創設以来、「地域に根差した社会福祉の実践」を理念に掲げ、地域の皆様の声に耳を傾けながら歩んでまいりました。長年にわたり寄せられる温かいご支援と信頼に、改めて深く感謝申し上げます。

本年も、地域に必要とされ、愛される法人であり続けるよう、役職員一丸となって誠心誠意努めてまいります。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人三交会 青葉台さくら苑 理事長 田中 雅英



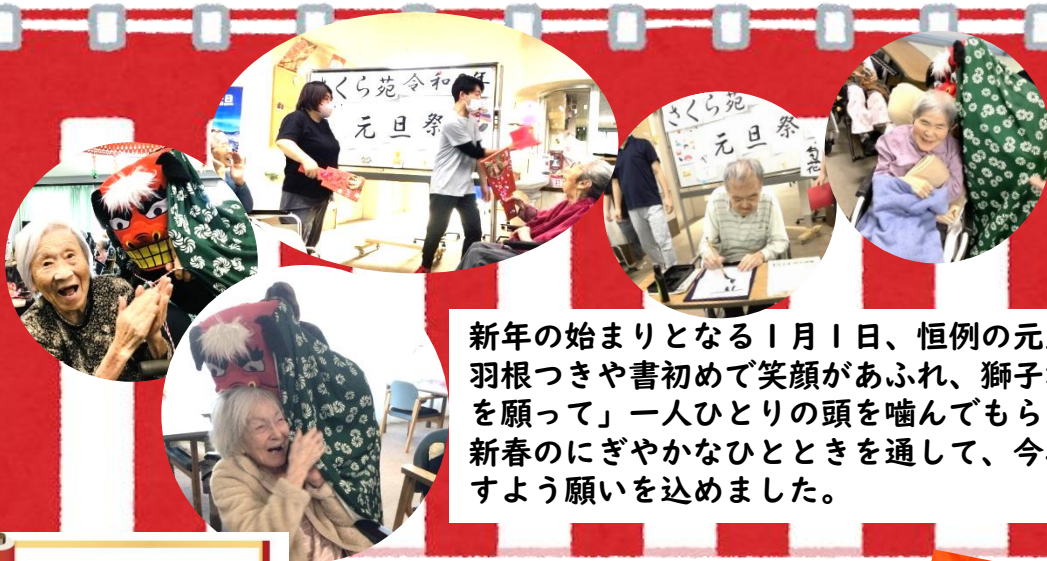
新年あけましておめでとうございます。旧年中は青葉台さくら苑の運営に多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、私どもにとって施設の基盤を再確認し、新たな活力を得た一年でございました。約7年ぶりに実施された特別養護老人ホームおよび短期入所生活介護への運営指導におきましては、おおむね「適切なサービスが提供されている」との高い評価をいただくことができました。これは職員の日々の研鑽が認められた証であり、大きな自信となりました。また、特養とデイサービス合同で開催いたしました大規模な敬老会も、特に心に残る行事となりました。ご利用者、ご家族、そして職員が一堂に会し、会場があふれんばかりの笑顔と活気に包まれた光景は、私どもにとってもかけがえのない思い出です。地域公益活動につきましても、変わらず地域の皆様との温かい交流を継続できましたことに、改めて感謝申し上げます。

本年は午年です。馬は古来より、人を助け、道なき道を力強く進む動物として親しまれてきました。青葉台さくら苑もこの午年にあやかり、ご利用者、ご家族、地域の皆様との「信頼の絆」をより強固なものにし、未来に向けて力強く歩みを進めてまいりたいと存じます。昨年の評価に甘んじることなく、専門性の向上に努め、ご利用者お一人おひとりの想いに寄り添うケアを追求してまいります。

本年も「あなたらしい生活と生き方を支援します」という施設理念のもと、職員一同、ワンチームとなって取り組んでまいります。変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人三交会 青葉台さくら苑 施設長 坂井 祐



元旦祭

新年の始まりとなる1月1日、恒例の元旦祭を開催しました。羽根つきや書初めで笑顔があふれ、獅子舞では「一年の健康を願って」一人ひとりの頭を噛んでもらいました。新春のにぎやかなひとときを通して、今年も元気に過ごせますようお願いを込めました。

初詣

こちら恒例となっている施設内の初詣。今年も手作りの神社を設置しました。賽銭箱やお賽銭を一つひとつ手作りし、自然と背筋が伸びるような雰囲気。皆さま丁寧にお参りされ、絵馬には新年への願いが込められていました。施設内にいながらも、お正月らしい穏やかな時間を過ごしていただきました。



第4回

全国老人福祉施設大会・研究会議 JSフェスティバル in 山口

令和7年12月4、5日両日にわたって、山口県山口市において、第4回全国老人福祉施設大会・研究会議が開催されました。研究発表では姉妹法人の博水の郷、さくら苑を含む都内の10法人が独自の就職フェアを開催し人材確保事業を協働でおこなう取り組みの発表を片桐部長が行い、見事、優秀賞を獲得しました。また、『外国人材の雇用、育成の課題』の議題のパネルディスカッションでは、さくら苑の外国人材対策室の守安さんがパネラーとして、熱く、また、他の法人にも参考になるような討論に参加しました。みなさんお疲れさまでした。



クリスマス会

メリークリスマス！
デイサービスにサンタクロースが何人も現れました！踊りや歌、楽器の演奏で盛り上がりました！ハンドベルではみんなで「ジングルベル」を大合唱♪



ロマン ディスコ



DJ GEN/介護福祉士の大滝亮輔さんと、RIP SLYMEのSUさんを迎え、厚生労働省「健康一番プロジェクト」特別コラボイベント。「ロマンディスコ」を開催していただきました。昭和から令和のヒット曲と懐かしい映像に合わせて、歌って、身体を動かして、楽しみながら健康づくり！参加者のみなさまは、若い頃に帰ったような笑顔でペンライトを振り、会場は大盛り上がり。見ているこちらまで元気をもらえる、まさに“若返り”の時間となりました。





谷口 早苗 (たにぐち さなえ)
 入社日：令和7年11月20日
 職 種：介護補助
 趣 味：手芸、音楽鑑賞
 一 言：皆様が笑顔になれるように頑張ります。

新人紹介



よろしくね



谷口 智子 (たにぐち ともこ)
 入社日：令和7年11月20日
 職 種：介護補助
 趣 味：音楽鑑賞、スポーツ
 一 言：安心して皆様が生活できる環境づくりを頑張ります。



古川 恵子 (ふるかわ けいこ)
 入社日：令和7年12月9日
 職 種：看護師
 趣 味：手芸
 一 言：介護現場は初めてです。よろしくお願ひ致します。



起震車で地震体験

地域連携防災訓練



高齢者疑似体験



手作り担架体験



目黒警察署の方の災害講話

11月27日(木)に、地域連携防災訓練をおこないました。今回は、地域の方々に加え、目黒警察の方にも協力いただき、一緒に訓練をおこないました。内容は、災害についての講義や高齢者疑似体験、担架をつかう訓練、起震車の地震体験です。いつもと違う試みの内容で、皆さまにも勉強になったとお声をいただき、楽しく訓練をおこなうことができました！皆さまご参加くださりありがとうございます

TEA TALK

45歳の節目に。新しい相棒と見つける日常の景色



居宅介護支援事業所の丸山です。私事ですが、先日45歳の誕生日を迎えました。1980年、申年生まれ。こうして元気に節目を迎えられたことに感謝するばかりです。この節目に、以前から欲しかった少し本格的なカメラを購入しました。キャンプやスポーツ観戦、食べ歩きといったこれまでの趣味に、「撮影する」という楽しみが加わりました。最近では、子どもや風景を切り取った写真を、晩酌のお供に見返す時間が至福のひとつです。スマホとは一味違う、空気感まで写り込むような独特の味わいに魅了されています。今後はこのカメラを相棒に、海辺や旅先などへも足を伸ばしてみたいと思います。40代後半も感性を大切に、公私ともに充実した日々を積み重ねていきたいです。



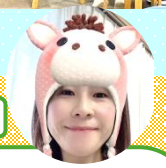
家族懇談会



令和7年11月22日、17名のご家族の方の参加で家族懇談会を行いました。

編集後記

副編集長 片桐恵子



新しい年が始まり、気持ちも新たにスタートしました。昨年でも多くのご支援とご協力のおかげで、さまざまな活動をおこなうことができました。心より感謝いたします。さくら苑では、1月に新たな外国人職員が仲間に加わりました。次号にてあらためてご紹介する予定です。異なる背景や文化をもつ仲間の存在は、私たちの活動に新しい気づきや広がりを与えてくれます。これからも、一人ひとりの歩みやつながりを大切にしながら、皆さまに親しんでいただける広報誌づくりを続けてまいります。どうぞ次号もお楽しみに。

